

学校案内

未来へ大きく

「人々のために役に立ちたい」思いを胸に



島原市医師会看護学校



学校長 宮崎伸一郎

島原市医師会看護学校は、看護・医療・福祉などの様々な分野で活躍する質の高い看護師を養成し続けることを使命と考え、島原半島で唯一の看護師養成所として運営してきました。その歴史は古く、明治37年に南高助産婦看護婦養成所として始まり、平成23年に現在の看護師3年課程をスタート致しました。以来、本校は校訓である「礼節・愛情・責任」を基盤に、心温まる看護を提供できる看護師養成を目標としています。

現代の医療は、患者様を中心とし多くの医療職が他職種連携チームを作り、お互いの知識を共有しながらそれぞれの役割を果たすというものであり、なかでも看護師の役割は重要です。本校は、人々のために役に立ちたいと看護の道を目指す皆さんが、社会人としての良識と専門的な知識・技術を習得するために、よりよい設備とカリキュラムを準備し、教員一同愛情と情熱をもって支援いたします。

是非、多くの方が挑戦し入学されることを心よりお待ちしております。

～教育理念～

看護に携わることに誇りと責任が持て、生命の尊厳と人間尊重の信念に基づいた倫理的配慮のできる看護（看護の本質）の考えを基盤に、発展していく社会に貢献できる豊かな人間性を備えた専門職業人として存在できるよう期待するものである。

～看護学校の沿革～

昭和30年	4月 1日	長崎県島原市中堀町下1130番地 社団法人 島原市医師会館に教室一棟増設し島原准看護婦学校開校
昭和30年	5月28日	長崎県知事にて認可
昭和40年	4月 1日	一学年40名に変更
昭和43年	9月29日	長崎県島原市萩原一丁目1230番地に社団法人島原市医師会館 並びに島原准看護婦学校校舎新築
昭和47年	4月 1日	一学年定員50名に変更
昭和55年	12月10日	長崎県知事にて島原看護高等専修学校認可
昭和56年	4月 1日	島原看護高等専修学校と名称変更
平成17年	4月 1日	島原市医師会看護学校 看護科（看護師養成2年課程・全日制）を新設
平成17年	4月 1日	島原市医師会看護学校と名称変更
平成17年	4月 1日	高等課程を准看護科と改称
平成17年	4月 1日	准看護科の定員減（50名→40名）を行う
平成23年	3月31日	看護科（2年課程・全日制）・准看護科養成停止
平成23年	4月 1日	看護科（3年課程・全日制）へ課程変更

学生からのメッセージ

〈在校生〉

専門的な授業が多く、覚えることが沢山ありますが授業や技術演習などを通して看護の大切さや素晴らしさを感じています。

本校は、数人の生徒に1人の教員がついて指導などを行うチューター制度があり、図書室や情報処理室等の施設も充実しています。また、授業ではグループワークもあり、仲間と協力しながら学習を行っています。島原市医師会看護学校で看護師の専門的な知識や技術を私達と一緒に学んでいきませんか？

〈卒業生〉

私は今、内科病棟に勤務しています。様々な疾患の患者さんの方がおり学ぶことが多くとても充実した日々を送っています。学校では日々の記録や学習の多さにくじけそうな日もありましたが、同じ志を持つ仲間や、優しく時には厳しく指導して下さる先生方に助けてもらい、現在看護師として働くことができています。学校で学んだ事は、看護師として働く中で基盤となりとても重要な過程です。理想と現実と戸惑うこともあるかもしれませんが一人で抱え込まず仲間と助け合って、様々な壁を乗り越えて下さい。そして時には息抜きをし、頑張りすぎないように、素敵な看護師を島原市医師会看護学校で目指して下さい。

学校施設



図書室：豊富な書物と学習しやすい環境が整っています



実習室：2つの実習室があり、基礎と応用に対応できます



情報処理室：1人1台のPC完備しています



充実した教材が揃っています

授業演習



学校生活



卒業式 3月
 国家試験 2月
 11月
 10月
 9月
3年次

7月
 6月
 5月
 4月
 3月
 2月
 1月
 11月
 10月
 8月
 7月
 6月
 5月
 4月
 3月
 2月
 1月

臨地実習

研修旅行

臨地実習

学校祭

臨地実習

校外学習

臨地実習

学校祭

夏季休暇
 オープンキャンパス (7~8月)

1年次

2年次



ハワイ研修



4月 入学式 校外学習

7月

夏季休暇
 オープンキャンパス (7~8月)

10月

学校祭

11月

宣誓式

1月

臨地実習

3月

校外学習

7月

臨地実習

10月

学校祭

11月

臨地実習

1月

3月

研修旅行

4月

5月

6月

7月
 6月
 5月
 4月
 3月
 2月
 1月
 11月
 10月
 9月



社会に貢献できる豊かな人間性を備えた スペシャリストをめざしたカリキュラム

教育課程

基礎分野

13単位
(360時間)

看護師として人間を幅広く理解する力、また問題解決能力を身につけるための科学的な思考、国際化への対応も視野に入れた学習で、基礎的な力を養います

科学的思考の基盤
人間と生活社会の理解

論理学／文化人類学／倫理学／教育学／カウンセリング論
社会学／英会話／英語講読／情報科学／保健体育／行動科学
人間関係論／心理学

専門基礎分野

21単位
(510時間)

人間の健康問題について専門的に援助するために必要な、人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進を中心に、理解する力を養います。さらに人々の保健行動に関する理解を深めるための、保障制度や福祉についても学習し、社会とのつながりについても考えます。

人体の構造と機能

看護形態機能Ⅰ～看護形態機能Ⅲ／臨床生化学／栄養学

疾病の成り立ちと
回復の促進

病態学Ⅰ～病態学Ⅶ／治療論／臨床薬理学／微生物学

健康支援と
社会保障制度

保健医療論Ⅰ～保健医療論Ⅱ／生活環境論／関係法規／社会福祉論

専門分野Ⅰ

13単位
(435時間)

看護の本質や理論について学習します。看護の専門的知識と技術について講義や校内実習を中心に習得を目指します。

基礎看護学

基礎看護学概論／基礎看護学方法論Ⅰ～基礎看護学方法論Ⅷ
看護研究の基礎
基礎看護学実習Ⅰ・基礎看護学実習Ⅱ

専門分野Ⅱ

38単位
(1320時間)

これまでの知識・技術・態度を活かし、対象に応じた看護が実践できる基礎的能力を養成します。特に臨地実習を通じて、健康問題を抱えた人を中心に、看護の経験・実践力を身につけていきます。

成人看護学

成人看護学概論／成人看護学方法論Ⅰ～成人看護学方法論Ⅴ
成人看護学実習Ⅰ～成人看護学実習Ⅲ

老年看護学

老年看護学概論／老年看護学方法論Ⅰ～老年看護学方法論Ⅲ
老年看護学実習Ⅰ～老年看護学実習Ⅱ

小児看護学

小児看護学概論／小児看護学方法論Ⅰ～小児看護学方法論Ⅲ
小児看護学実習

母性看護学

母性看護学概論／母性看護学方法論Ⅰ～母性看護学方法論Ⅲ
母性看護学実習

精神看護学

精神看護学概論／精神看護学方法論Ⅰ～精神看護学方法論Ⅲ
精神看護学実習

統合分野

12単位
(375時間)

これまで習得した知識・技術・態度をより臨床に近い環境で学習します。災害看護について学習し在宅看護や様々な状況下、実務に即した実習で臨床実践能力を身につけていきます。

在宅看護論

在宅看護論概論／在宅看護論方法論Ⅰ～在宅看護論方法論Ⅲ
在宅看護論実習

看護の統合と実践

看護管理／災害看護／臨床看護の実践／国際看護
看護の統合と実践の実習

学費等（初年度）

	項目	金額
	入学金	250,000円
授業料等	授業料(年額)	480,000円
	実習費(年額)	160,000円
	施設設備費(年額)	150,000円
入学準備金	教科書・副読本他	225,000円
	実習衣代他	50,000円
	団体傷害保険(1年間分)	5,000円
	研修旅行積立金(月額)	10,000円

※入学準備金は、実際の金額と異なる場合があります。
※3年間を通して約3,000,000円の学費が必要です。

奨学金

- ★ 島原市医師会奨学金
- ★ 日本学生支援機構
- ★ 長崎県看護職員修学資金
等

特待生制度

- ★ 選考（成績・生活態度等）により、半年間の授業料を免除する制度です。

長崎県内の看護学校で初

ICT教育・学修支援

本校では、令和3年4月入学生よりタブレット端末（iPad）を導入し、電子書籍・最新の動画ツールを利用して学習することが可能となります。

チューター活動

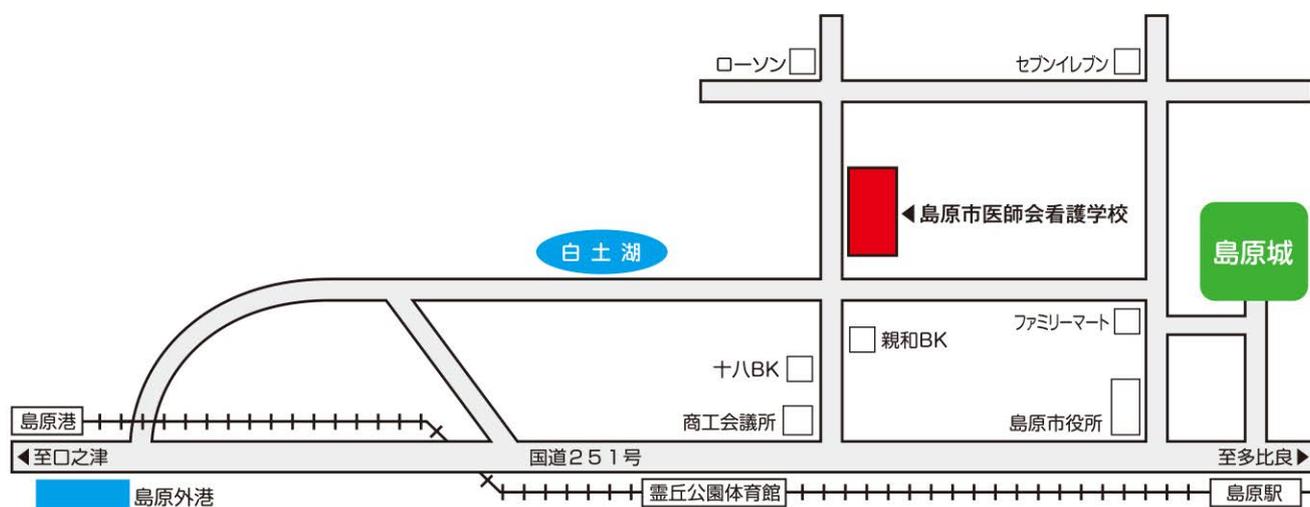
学生同士が小グループで、教え合って学ぶ協同学習活動です。
教員は学生の主体的・自発的学習能力を培うための支援を行っています。

卒業後の資格

- ★ 看護師国家試験受験資格
- ★ 保健師・助産師学校の受験資格
- ★ 大学編入資格
- ★ 専門士（医療専門課程）の称号授与

令和2年度就職先実績

- ★ 長崎県島原病院
- ★ 医療法人済家会 柴田長庚堂病院
- ★ 医療法人社団東洋会 池田病院
- ★ 医療法人栄和会 泉川病院
- ★ 医療法人社団苑田会 公立新小浜病院
- ★ 医療法人伴帥会 愛野記念病院
- ★ 独立行政法人 地域医療機能推進機構 諫早総合病院
- ★ 地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター
- ★ 長崎大学病院
- ★ 独立行政法人 国立病院機構 長崎医療センター
その他 長崎県内外就職有



【島原市医師会看護学校】

〒855-0851 長崎県島原市萩原1丁目1230番地

TEL 0957-65-0730 FAX 0957-65-0731

メール:kango@simaisi.jp

URL:<http://www.nagasaki.med.or.jp/simabara/school.html>